

平成29年度 課題研究

教科(科目)	工業(課題研究)	学科(コース)・学年	土木科・3年生
使用教科書	社会基盤工学(実教出版)、測量(実教出版)、土木製図(実教出版)		
副教材等			
履修単位(時間)	3単位(105時間)	履修条件	必修

1. 学習目標

<p>○土木に関する課題(問題解決学習)を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決能力や研究発表能力を育てることを目標とします。</p> <p>・問題解決能力や研究発表能力の向上</p> <p>生徒自らが、土木に関する興味・関心からテーマを設定し、計画、製作や調査・研究などを行い、結果を整理・発表し問題解決能力や発表能力などを育成します。</p>

2. 指導の重点

<p>「課題解決学習」は、生徒自らが、テーマを決定し行います。課題設定、計画、製作や調査・研究などを行い、結果を整理・発表し問題解決能力や発表能力を育成することを重点とします。</p>
--

3. 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動(評価方法)
4月～ 1月	「課題解決学習」	<p>○生徒自らが、土木に関する興味、関心からテーマを決め、「課題解決学習」を行います。課題設定、計画、製作や調査・研究などを行い、結果を整理し自主的・自発的に行うことをねらいとします。</p> <p>○結果を整理し、自ら工夫して発表の準備・発表を行うことを目標とします。</p>	<p>○自ら設定した課題を解決できる能力があるかを評価の観点とします。</p> <p>○研究のまとめ方やパワーポイントを用いた発表能力を評価の観点とします。</p>

4. 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<p>[評価規準]</p> <p>○意欲を持って積極的に授業に取り組もうとしている。</p> <p>[評価方法]</p> <p>・学習活動の観察、課題の記述内容等から生徒の取</p>	<p>[評価規準]</p> <p>○自ら定めた課題の問題の把握、課題解決へのプロセス、結果がどのようになったのか考察、反省ができ、プレゼンテーションすることができる。</p>	<p>[評価規準]</p> <p>○自らの課題に従って完成させることができる。</p> <p>[評価方法]</p> <p>・プレゼンテーションを解りやすく具体的に作成できるなどの職業的な技能</p>	<p>[評価規準]</p> <p>○課題解決方法や成果、課題を結論を通してまとめ上げることができる。</p> <p>[評価方法]</p> <p>・発表内容からだけでなく、学習課題や解決への</p>

<p>組状況を多面的に評価を行う。</p>	<p>[評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考・判断した過程や結果の説明などから、思考 ・判断の過程と結果、充実した言語活動のものを適切に表現できるかを多面的に評価する。 	<p>のみならず、要求に応じた処理手順の構築や資料を適切に活用する技能など、多面的に評価する。</p>	<p>手順の記述内容等から生徒の現状を多面的に評価する。</p>
-----------------------	--	---	----------------------------------

具体的な評価の対象

- ・学習状況（出席状況、授業態度、意欲など）
- ・課題の完成度

5. その他（留意すべき点・担当者からの一言）

○「課題解決学習」は、自ら課題を見つけ、課題に対しアプローチをすることです。実社会で求められることなので、安易に自分の設定するレベルを下げることなく、最後までねばり強く課題解決を目指して欲しいです。また、発表方法や表現力も工夫して行って欲しいです。